

地域密着型サービス事業所の運営状況等について

1. 事業所の状況

① 運営状況 7月1日現在、休業又は時間短縮している事業所はありません。

② 新型コロナウイルスの影響に関する調査報告

調査名	介護保険サービス事業所における新型コロナウイルス感染症に関する影響調査	調査日	11月10日～ 11月16日
調査対象	市内介護事業所93事業		
調査目的	新型コロナウイルス感染症に関する影響（従業員への影響、経営状況の把握）		
調査結果	<p>地域密着型通所介護10事業所、認知症対応型共同生活介護4事業所、小規模多機能型居宅介護支援3事業所から回答を得た。運営基準上必要な人員的な確保は出来ているとの回答。</p> <p>通所系事業所は利用率としては通常の7割程度の利用となっており、コロナの影響での利用控えが考えられます。経営状況としては「厳しいが事業継続可能」との回答が6事業所、「特に影響はない」との回答が7事業所でした。</p> <p>認知症対応型共同生活介護事業所は入所施設という性質上、利用率や経営状況への大きな影響は見受けられませんでした。面会制限がずっと続いており、不穏になる入所者も見られているそうです。</p> <p>国の「介護施設・事業所等職員慰労金支給事業」へは全事業所が、申請または、申請予定と回答されていました。</p>		

③新型コロナウイルスワクチン接種に関して

認知症対応型共同生活介護事業所の入所者と職員に対しては先行してのワクチン接種を進めており、接種が完了しております。通所介護事業所の利用者は一般の高齢者枠での接種、職員に対しては、高齢者の次の優先接種枠にて先行申し込みを受け付け接種していただくように勧めております。

④新型コロナウイルス感染状況

認知症対応型共同生活介護事業所において、令和3年1月7日～入所者6名、職員3名の集団感染が発生しました。一時期入院先が見つからない陽性者が5名、施設内での療養を余儀なくされており、感染拡大防止のための防護服を市から100着提供しました。2月6日に終息しました。